

教育委員意見交換会

日時 令和3年1月25日(月)午前9時15分から午後0時15分

場所 市役所本館地下1階多目的室

出席者 中谷教育長、河盛委員、大島委員、宮本委員、鈴木委員、新谷委員

(事務局)田所教育次長、松下教育監、橋理事

中井教委総務部長、長山教職員人事部長、江戸学校教育部長、太田学校教育部理事、
藤本教育センター所長、大貫学校管理部長、天野学校管理部理事

橋本教委総務課長、澤田教委総務課参事、志波教職員人事課長、森内人権教育課長、
渡邊能力開発課長、永野施設課長、赤嶺中央図書館総務課長

永木教育政策課長、河合教育政策課長補佐、木村教育政策課企画係長

案件

- ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う教育委員会の対応について
- ・令和3年度全国学力・学習状況調査について
- ・堺市立大泉小学校の敷地の一部変更について
- ・令和3年度当初予算について
- ・堺市人権教育推進方針(案)について
- ・令和4年度(令和3年度実施)堺市立学校教員採用選考試験について(案)
- ・第3期未来をつくる堺教育プラン(案)のパブリックコメントの結果について

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う教育委員会の対応について

総務部より、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う教育委員会の対応について、学校園では通常形態の授業を継続する一方で、地域活動への学校施設開放の停止やイベント等の中止または延期を行うこと、図書館については館内滞在時間の短縮を図りながら運営を継続するとともに、非来館型サービスを拡充することなどについて報告し、質疑を行った。

(主な意見)

- ・ 教職員の勤務について、通勤手段の変更等についてはどのように対応しているのか。
→自家用車での通勤等については、正式な手続きを経れば可能である。各学校の状況に応じて、敷地内駐車を認めざるをえないこともある。また、教職員自身や家族も含め、体調が悪い場合は、特別休暇を取るよう声をかけている。
- ・ 子どもの陽性者数は多いが、学校の休業件数は少ない。周囲の子は濃厚接触者にあたらないのか。
→子どもの陽性者は多くなっているが、家庭内感染が多く、その場合、発症前から休んでいるケースもあるため、濃厚接触者は少なく、結果的に学校休業件数が少なく抑えられている。子どもが発症した場合、PCR検査を受けるまでの行動や、その周囲の子どもたちの登校状況等もしっかり見極め、保健所と連携・協議の上、教育委員会として学校休業の判断をしている。
- ・ 校外学習等の状況はどうか。
→緊急事態宣言が出ている間は、延期または中止で検討するよう指示している。

- ・ 保護者が学校の時間外に緊急で連絡が必要な場合にも、柔軟に対応してもらいたい。
- ・ 感染者数が多くなると、濃厚接触者の判定など、保健所が機能しなくなる可能性もある。そこまでの状況にならなければよいが、今後のリスクマネジメントとして独自の基準が必要になってくるかもしれない。

令和3年度全国学力・学習状況調査について

能力開発課より、1月8日の教育委員会定例会での質疑に関する詳細について、次のとおり説明し、質疑を行った。

- ・ 文部科学省へ問い合わせた結果、全国学力状況調査の本体調査の結果返却時期は、8月末である。
- ・ 保護者に対する調査の趣旨説明については、学校から保護者へ、調査の趣旨が記載された依頼文を配付し、周知する。
- ・ 保護者のプライバシーの保護について、学校は、保護者が提出用封筒に調査票を入れて糊付けしたものを回収し、そのまま文部科学省に送付するため、保護者の回答内容を見ることができない。
- ・ 保護者の回答が任意とは、答えられる範囲で回答を依頼するということである。

(主な意見)

特記事項なし

堺市立大泉小学校の敷地の一部変更について

施設課より、大泉小学校の敷地のうち、北側部分の一部 9,167 m²の余剰地を、市が売却するに当たり、用途廃止を行い行政財産から普通財産へ変更することについて説明し、質疑を行った。

(主な意見)

- ・ 学校に隣接するという観点で、相応しくない建物等が立つことはないのか。
→ 一般競争入札にあたり、用途指定等の制限は設けないと聞いている。
ただし、当該地域は、第1種中高層住居専用地域、近隣商業地域であり、建築基準法上の用途制限を受ける。また、学校に隣接するため、府の風俗営業に係る制限地域となるため、パチンコ店などは建築できない。

令和3年度当初予算について

教委総務課より、令和3年度当初予算要求における重点取組事項についての予算内示の状況や、主な見直し項目について報告し、意見交換を行った。

(主な意見)

- ・ 学校園への予算額はどのくらい減額しているのか。
→ 各学校園に毎年、学級需用費として配当している予算規模では、マイナス 5%である。ただし、コロナ関連による消毒液の購入などは、補正予算を活用していく。
- ・ 昨年度末から今年度の始めの3か月間、学校休業が続いていた中で、特に子どもたちの学習支援を手厚くしなければならぬのではないかと考えると、放課後の学びのサポート事業を廃止して大丈夫か懸念される。授業の遅れや未消化の部分はどこかでフォローしなければならず、この時期だからこそ必要ではないかと思う。
- ・ 小学校連合運動会や小中学校連合音楽会などの行事については、「令和3年度は休止し、今後の事業の在り方について検討する」という項目に入っている。コロナ禍で仕方ないとは思いますが、子どもたちはさまざまな機会が奪われている中で残念に思う。検討する際には、保護者や子どもたちの意見も吸い上げてほしい。

- ・ 見直し項目について、文化事業等を軽視しているような印象を受ける。文化や体育なども大事にしないといけないのではないか。
- ・ 連合音楽会などのイベントについては、参加人数も多く、企業広告等などの財源確保の手法も考えてみてはどうか。また、保護者も観覧できるようにして、パンフレットを販売するなど、実施方法を工夫し、継続できるように検討してほしい。
- ・ 事業が途切れてしまうと、ノウハウが継承できなくなり、事業が継続できなくなることも考えられる。令和4年度は復活できるよう、しっかり検討してほしい。

堺市人権教育推進方針(案)について

人権教育課より、堺市人権教育推進方針(案)について、教育委員の意見をふまえた修正点を説明した上で、今後、3月下旬から約1か月間、パブリックコメントを実施することなどを説明した。

(主な意見)

特記事項なし

令和4年度(令和3年度実施)堺市立学校教員採用選考試験について(案)

教職員人事課より、令和4年度(令和3年度実施)堺市立学校教員採用選考試験について、より優秀な人材の確保のため、試験制度を変更することについて説明し、意見交換を行った。

<来年度の主な変更点(案)>

- ・ ICT活用能力所有者に対する特別選考及び加点制度の新設
- ・ 集団討論及び適性検査の廃止をはじめとする試験制度の変更
- ・ 現職対象選考の1次合否判定の実施やゆめ塾対象選考の廃止
- ・ 英語資格所有者、ゆめ塾セミナー生に対する加点制度の変更

(主な意見)

- ・ 集団討論は、グループのメンバーによって有利・不利が出てくるため、評価が難しい側面がある。
- ・ ICT活用能力所有者に対する加点等については今の時代に必要だと思うが、教育現場にふさわしい人材を採用するようにしてほしい。
- ・ 人物の本質を見極めるための面接官のノウハウの共有や継承が重要で、面接官のスキルアップが求められる。
- ・ 面接官のスキルアップに関して、面接の様子を映像に残し、スキルの高い面接官と自分の評価とのズレを確認していくような研修は有効だと思う。

第3期未来をつくる堺教育プラン(案)のパブリックコメントの結果について

教育政策課より、第3期未来をつくる堺教育プラン(案)のパブリックコメントの結果について報告するとともに、パブリックコメントの意見をふまえて修正した内容や、国の動向や堺市基本計画2025(案)等をふまえて修正した箇所について説明し、質疑を行った。

(主な意見)

- ・ 保護者へのプランの周知にあたっては、多くの方に見てもらえるようにQRコードの記載などの工夫をしてほしい。